

PrimeShip-ETAS

緊急時技術支援サービス



毎日新聞社 提供

主な特徴

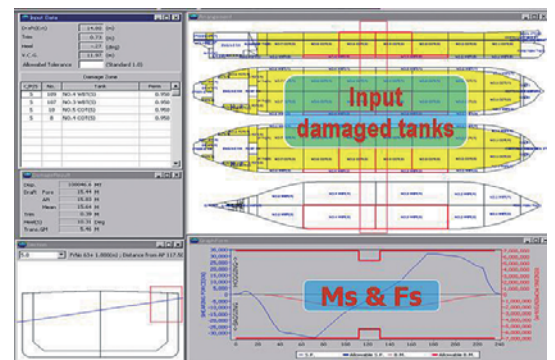
- コンピュータによる損傷時の復原性と強度計算
- 365日、24時間体制
- 5,000DWT以上のタンカーに要求される
“Shore-based Computer Programs” に対応

PrimeShip-ETASは、船舶の座礁、衝突、爆発などの重大事故に際し、船舶の安全と海洋汚染を防止もしくはその影響を最小限にするために船主を支援するサービスです。船主やサルベージ会社と緊密に連絡をとりながら、ETASチームはサルベージ作業が状況を悪化させないように、または、悪影響を最小限に止めるよう助言します。

緊急時技術支援サービス (PrimeShip-ETAS: Emergency Technical Assistance Service)

残存復原性計算・残存縦強度計算

ETASチームは損傷を受けた船舶の復原性や残存縦強度を計算するためのソフトウェアに、タンク配置や容積等の個船のデータをあらかじめ登録しています。緊急時には、この専用ソフトを使って、損傷を受けた船舶の復原性や残存縦強度を迅速に計算します。

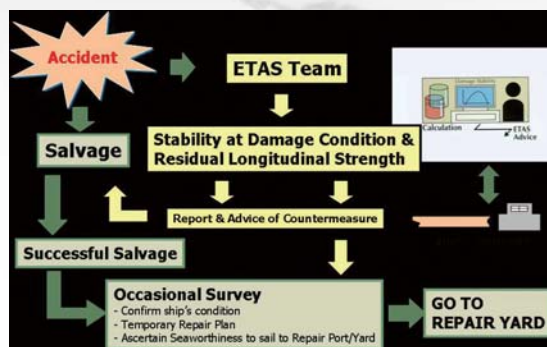


計算・検討結果の連絡および対応策・助言

計算結果を元にバラスト水や燃料油の移送、瀬取りなどサルベージを補佐する対策をアドバイスします。また、サルベージ後も、修理地まで回航するための十分な復原性と残存縦強度を有しているかをアドバイスします。

365日、24時間体制で顧客の緊急連絡に対応

ETASチームは経験豊富な検査員によって構成され、顧客からの緊急連絡に対し24時間、365日体制で対応しています。ETASチームは毎月ドリルを実施し、能力を向上させています。

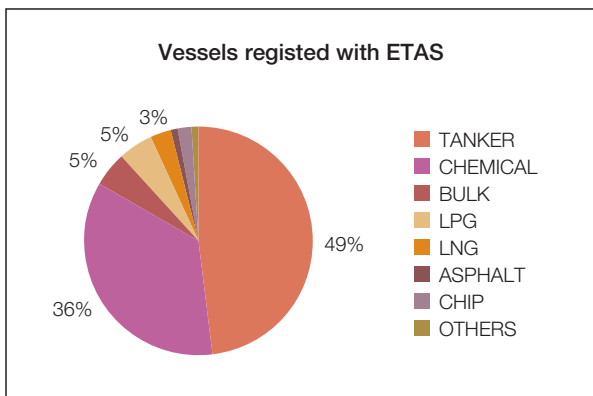


MARPOL 73/78条約の付属書Iで要求される“Shore-based Computer Programs”に対応

PrimeShip-ETASは米国に入港する油タンカーにOPA90で要求されるVessel Response Planの要件に対応しています。MARPOL 73/78条約付属書Iで5,000DWT以上の油タンカーに要求されるShore-based Computer Programsに適合しており、油濁防止緊急措置手引書(SOPEP)に記載される“damage stability and damage longitudinal strength assessments”の連絡先として使用できます。

油タンカー以外の船種にも対応可能

PrimeShip-ETASには1000隻以上の船舶が登録されており、タンカーやケミカル船だけでなく、バルクキャリアやガスキャリアも登録されています。ETASはタンカー以外の船舶も登録可能です。



連絡先:検査技術部

日本海事協会 管理センター

〒102-8567 東京都千代田区紀尾井町4-7

E-mail: svd@classnk.or.jp Tel: 03-5226-2027 Fax: 03-5226-2029